

新本庁舎低層部等一体的利活用検討会

第1回

日時：令和5年10月18日(水) 9:00-11:00
場所：IDOBA

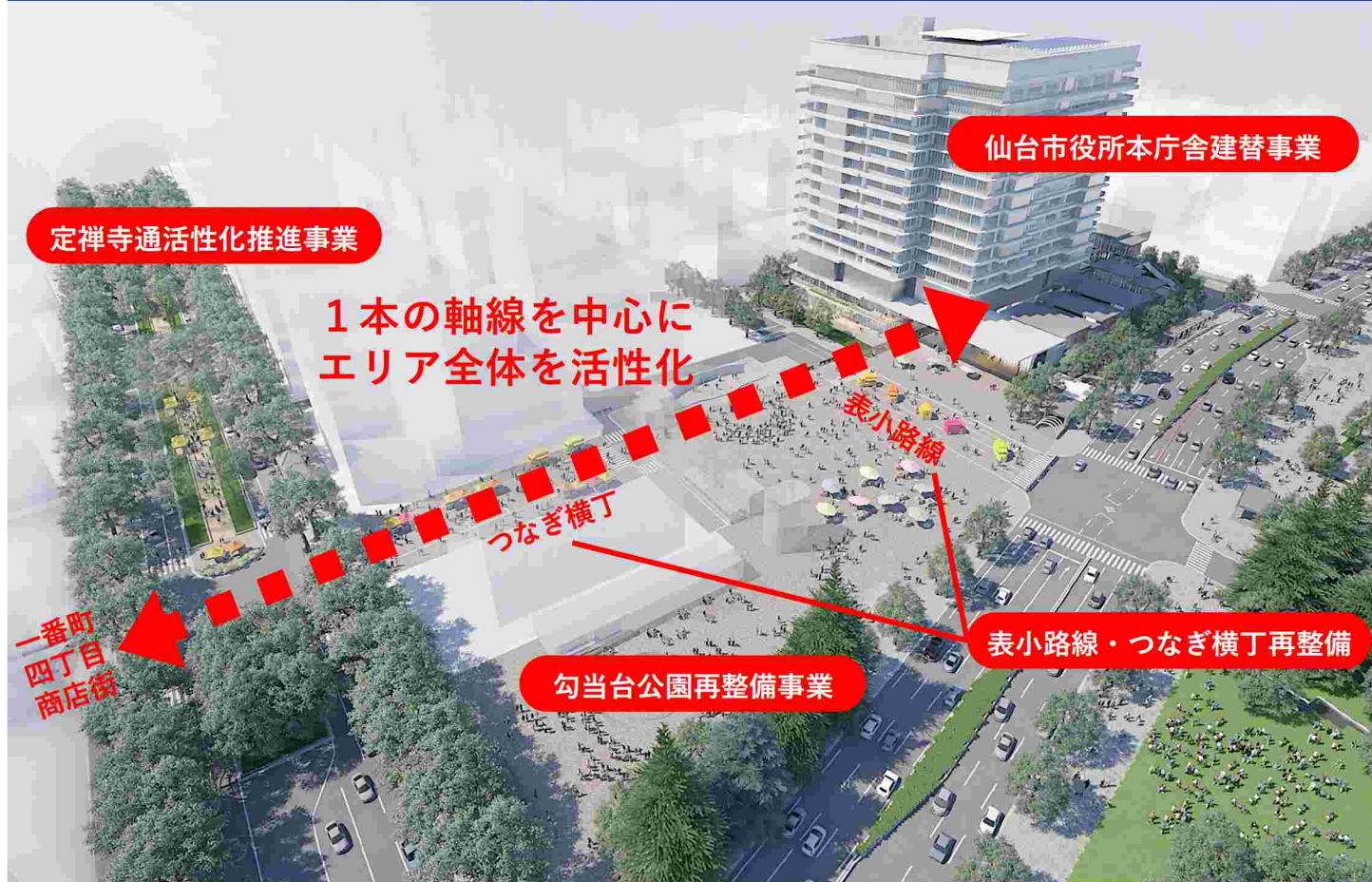
<次第>

- 1 開会
- 2 仙台市あいさつ
- 3 委員等紹介
- 4 プレゼンテーション
 - ・ 勾当台・定禅寺通エリアの整備事業
 - ・ 本検討会の位置づけ
 - ・ これまでの検討成果
 - ・ 仙台市が考える「目指す姿」
 - ・ 本検討会での検討内容
 - ・ 社会実験の企画概要
- 5 ディスカッション
- 6 次回開催案内
- 7 閉会

勾当台・定禅寺通エリアの整備事業

勾当台・定禅寺通エリアで進行中のプロジェクト(仙台市)

01



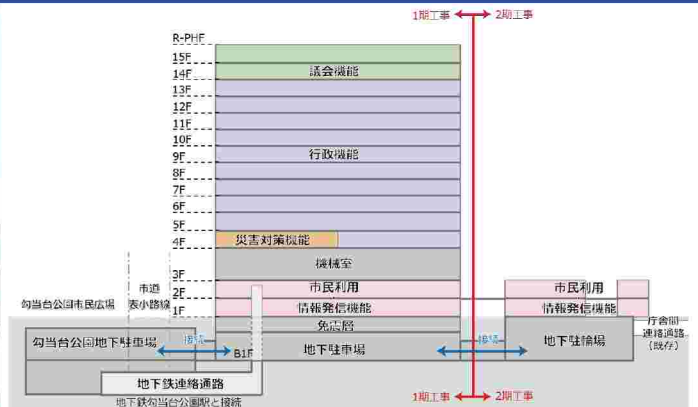
一体的利活用エリア及び周辺の公共施設 整備スケジュール

公共施設整備が一旦の区切りを迎える

現在

西暦	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
令和	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
市役所本庁舎	実施設計	解体	第1期工事			解体	第2期工事		
定禅寺通	測量調査設計	工事							
勾当台公園	基本設計	実施設計	にぎわいの広場(市民広場)工事			いこいの広場工事			
表小路線・つなぎ横丁	検討・設計			工事					

新本庁舎整備事業 (R4.3 策定「仙台市本庁舎建替基本設計書」より抜粋)



【市民利用・情報発信機能】1～2階

市民広場と一体的に活用できるように配置
 快適な滞留空間の整備や、歩行者の回遊性を促し、まちの賑わい創出に寄与

- ・庁舎の1階、2階には、休日も含め日常的に市民が活用できる機能を整備するほか、市民広場と一体的に活用できる広場や、天候に左右されず利用できる広場等を整備
- ・民間活力の導入により、上記の機能を運営することを想定
- ・休日のイベント時には市道表小路線を歩行者天国化し、勾当台公園市民広場や周辺道路空間との一体的利活用を図ることで、まちの賑わいの相互波及や回遊性の向上に寄与



※表小路線・つなぎ横丁の交通規制を実施した休日のイメージパース

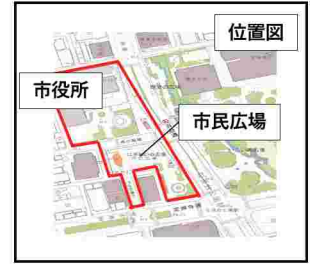
「にぎわいの広場」の性格づけ

従前からのイベント会場としての役割を継承しつつ、新本庁舎敷地内広場や表小路線、つなぎ横丁、定禅寺通など周辺と一体となったにぎわいの広場

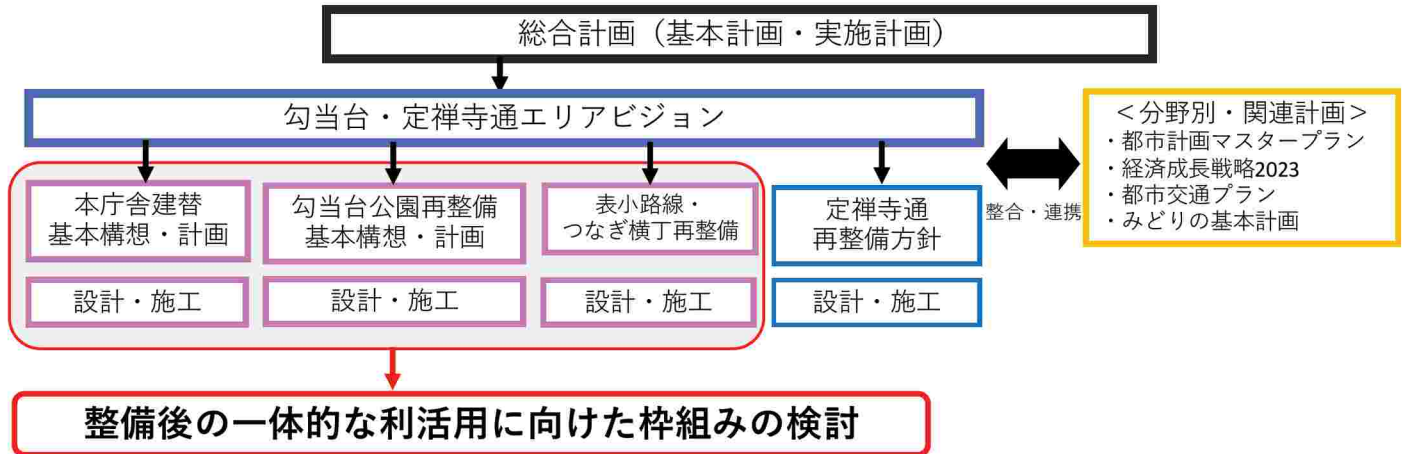
本検討会の位置づけ

< 検討会の位置付け >

一体的利活用エリアの活用にあたり、**その運営体制等の枠組みについて、地域関係者や有識者、行政で検討**するための協議組織



< 仙台市の各計画との関係 >



委員等

< 委員 >

氏名	所属等	分野等
猪股 孝之	一番町四丁目商店街振興組合 理事長	商店街
氏家 正裕	定禅寺通街づくり協議会 幹事・まちづくり部会長	地域活動団体
内川 亜紀	札幌駅前通まちづくり株式会社 取締役統括マネージャー	事業収益性
姥浦 道生	東北大学災害科学国際研究所 教授	まちづくり・都市政策
佐藤 晶洋	国分町三丁目友和会 会長	近隣町内会
高山 秀樹	仙台商工会議所 常務理事・事務局長	商工・地域経済
馬場 正尊	東北芸術工科大学 教授	公共空間利活用

< オブザーバー >

氏名	所属等	分野等
小島 博仁	一般社団法人 SRM 代表理事	公民連携
佐々木 和之	株式会社ユーメディア 執行役員	社会実験等業務受託者

< 仙台市 >

氏名	所属等
高橋 輝	まちづくり政策局 次長
坂本 知靖	財政局 次長
杉田 剛	経済局 次長
京谷 寛史	都市整備局 次長
甲野藤 弘憲	建設局 次長
佐々木 亮	建設局 次長

これまでの検討成果

仙台市役所新本庁舎低層部等公民連携検討会 報告書

～新たな「チャレンジ」を育む市役所を目指して～

令和4年3月

本庁舎建替基本計画（新本庁舎が目指す3つの方向性）

協創・共創の場で市政課題を解く

- ・市民・議会・行政と一緒に協創・共創できる場となるよう、**多様な市民が集い参画できる庁舎として整備**

市民が集う多彩な協働の杜をつくる

- ・更なるまちの賑わいのため、市民広場等と**一体的な空間となるよう配慮**
- ・市民が集い安らく**憩いの場**

杜の都・防災環境都市を発信する

- ・杜の都のアイデンティティ（**伝統**）や防災環境都市の取組み（**経験**）を百年先まで**発信する市庁舎**

機能分類（例・仮称）

3つの方向性実現に向けて必要と考えられる機能・多様な活動（例）

機能分類 (例・仮称)	3つの方向性実現に向けて必要と考えられる機能・多様な活動（例）		
	Policy Lab ※市民等が、上記3つの方向性実現のため、自ら考えた実施可能な政策アイデアを出すことができる機能/活動 ・地域課題等に関する個別相談スペース/活動 ・エリアマネジメントやまちづくり団体の活動スペース/活動 ・ピッチイベント(社会課題解決・提案型イベント等)、交流会 ・起業・企業成長支援セミナー等		
	Cross Media Lab ・消費者参加型のメディアやコンテンツの展示/活動 ・都市政策に係るパネル・模型展示等	・オープン参加の地域イベント ・パブリックビューイング ・市外訪問者への観光情報提供 ・市の特産品などを直販するマルシェ等	・仙台市らしい生活・芸術文化イベント ・仙台市及び東北の歴史や文化等の魅力PRスペース/活動等
Living Lab ・市民セミナー ・研修会、ワークショップ ・コワーキングスペース等	・コミュニティサロン等 ・飲食機能/活動等	・市民や職員を含む幅広い世代が利用可能な展示スペース/活動等	

3つのラボ機能

日常と非日常が混在する
開かれた市民利用・情報発信の場

1. Living Lab
2. Cross Media Lab
3. Policy Lab



1. Living Lab.

市民のための日常型コンテンツ

- ・カフェ等の飲食や物販
- ・定期マルシェ/東北の産直
- ・バスの待合
- ・休憩広場等

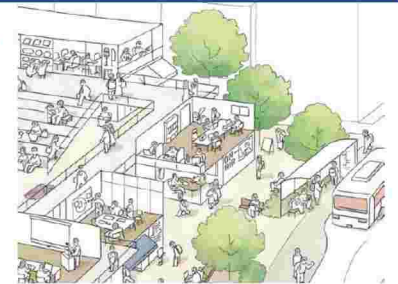


2. Cross Media Lab.

共感型情報発信拠点

- ・仙台の魅力発信
- ・東北の魅力発信
- ・コンセプト型観光情報発信

低層部コンテンツや政策/公民連携事業の情報発信



東北の魅力発信イメージ



屋内情報発信ブースイメージ



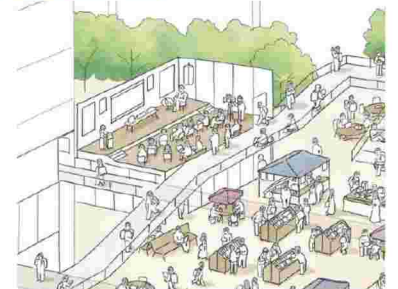
観光案内所イメージ



3. Policy Lab.

開かれた政策検討/公開の場

- ・公民連携事業検討
- ・社会課題/都市経営課題検討
- ・エリアマネジメント会社のオフィス
- ・政策や事業の広報



建物と屋外スペースイメージ



屋外マルシェイメージ



屋敷付き広場イメージ



屋外会議イメージ



屋内会議イメージ



屋内オフィスイメージ



<一体的利活用エリアのコンセプト>

**多様な主体が集い
新たなチャレンジを育む空間の創出**

- ・仙台の市民協働の歴史等を背景に、市民と行政、企業等による**協働・共創を育む空間を設け、新たな価値の創造を推進**します
- ・仙台の持つ多様な人材や企業・大学等との連携により、**地域課題の解決や市民サービスの向上**につなげます
- ・快適な滞留空間や憩いの場といった、**日常的に市民が集い、生活を豊かにする空間を整備**します

**シームレスで柔軟性のある
利活用スキームの構築**

- ・一番町商店街や定禅寺通といった周辺エリアとの**回遊性向上**を図ります
- ・エリア内での連続性を意識した、**シームレスな空間づくり**を進めます
- ・申請手続の一本化など、**利用者にとって柔軟で使いやすい空間**を目指します

**公民連携により
エリアブランディングに貢献**

- ・定禅寺通や勾当台公園等での活動と連携し、**相互に賑わいを波及**させます
- ・地域のステークホルダー等も含めた**公民連携スキームを構築**します
- ・コーディネート機能を導入し、**エリアでテーマ性を持った活動を実施・発信**、来訪者や民間投資を呼び込むなど、**エリアの価値向上**につなげます

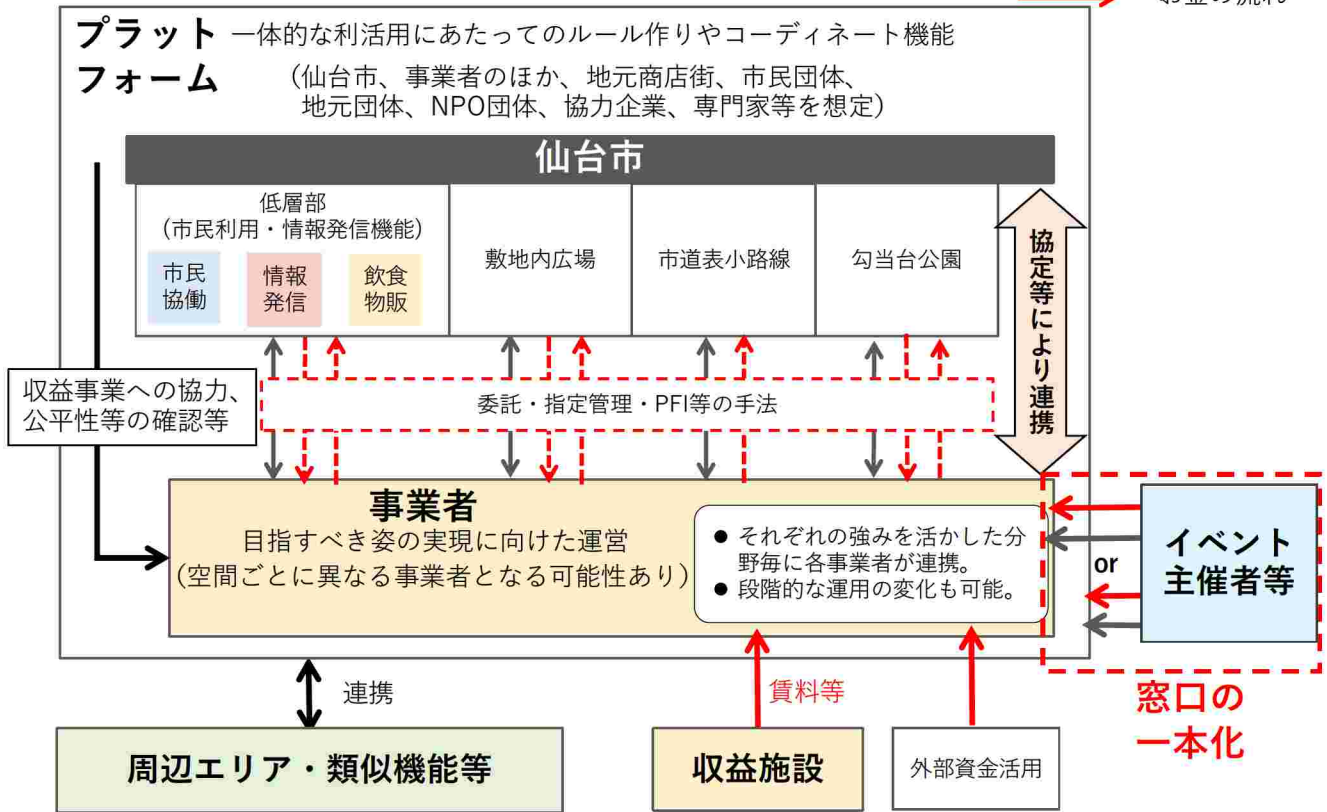
<一体的利活用の目指すべき姿>

一体的利活用
の目指すべき姿

- ① 多様な主体が連携した**新たな価値の創造**や**地域課題の解決**により、**市民サービスの向上につながる空間を創出**する
- ② まちの賑わいに貢献するため、日常的に市民が集い、**交流とゆとりを楽しむ快適な空間を創出**する
- ③ 利用者にとって使いやすい環境を目指すため、**シームレスな空間づくりや手続きの簡素化**を図る
- ④ 公民連携の取組みにより、エリア一体での活動を推進・発信するなど、**周辺エリアと相互に賑わいを波及**させることで、**エリアの価値向上**につなげる

< 事業手法 (案) の想定 >

契約等
お金の流れ



これまでの取組み～表小路線・つなぎ横丁の利活用社会実験(R4)

令和4年度、一体的利活用に向けた課題把握のため、道路空間と周辺の公共空間を活用した社会実験を実施

- ◆ 来場者、連携したイベント主催者へのアンケート
 - ・ 来場者の9割以上が取り組みを評価
 - ・ イベント主催者からも相乗効果等の評価
- ◆ 設備や段差などハード面での課題などについて把握
 - ・ 庁舎の外構設計へ反映
- ◆ 周辺交通への影響を調査
 - ・ 通行止めによる周辺交通の増加はあったものの、大きな影響は見受けられなかった
- ◆ 手続き上の課題 (受託業者より)
 - ・ イベント実施あたり各所へ申請・調整が必要だが、窓口を一本化するなど手続きを簡素化できる仕組みが必要と感じる



仙台市が考える「目指す姿」

新本庁舎低層部等の目指す姿

14

<エリアの魅力・特徴>

- 勾当台・定禅寺通エリアは、豊かな公共空間が連なり、それらの空間が多彩な市民活動と一体となって、日常的な賑わいと憩いを創出する仙台の象徴たるエリア

<目指す姿>

- 新本庁舎の整備にあたっては、そのエリアの特徴を踏まえながら、**庁舎低層部に民間活力を導入し賑わいを創出することや、市民広場、表小路線、つなぎ横丁等との一体的な利活用により、周辺エリアとの賑わいの相互波及やまちの回遊性の向上**を図り、

「多様な活動が交わり 新たな価値を生み出す協働・共創の場」を目指す。

新本庁舎低層部等の目指す姿（空間・活動のイメージ）

市民協働を進めるための取組



議論の進行役の導入等により、市民・職員・学生・企業等の活発な議論を生み出す空間を創出



議論の内容を可視化することで、誰もがその活動を気軽に見られる空間を整備



課題解決のための実験の場やチャレンジショップ等の展開

周辺エリアなどで実装

主に2Fに配置

建物内の活動が外にも広がる空間を整備

2Fは飲食等もできる、来庁者が仕事等で活用できる空間を整備



来庁者や職員が昼も夜も飲食・気分転換できるような空間を整備

デッキを回遊しながら様々な活動に触れられる空間を整備



1Fは行政による情報発信のほか、小規模の飲食可能なイベント等でも活用できる空間を整備

キッチンカーを乗入れ可能とし、来庁者や近隣オフィスの就労者等がランチや休憩できる空間を整備



商店街イベントと連携した東北6県のマルシェ等の開催

※庁舎低層部の機能（行政機能除く）は休日や開庁時間外も営業予定

新本庁舎低層部等の目指す姿（休日の使われ方の例－テーマ：防災・環境）

食品ロスを少なくする料理教室

防災に役立つワークショップの開催

学びの要素

防災に関する企業の最新技術発表の場

環境に関する市からの情報発信

遊びの要素



環境配慮車両等の展示・乗車会

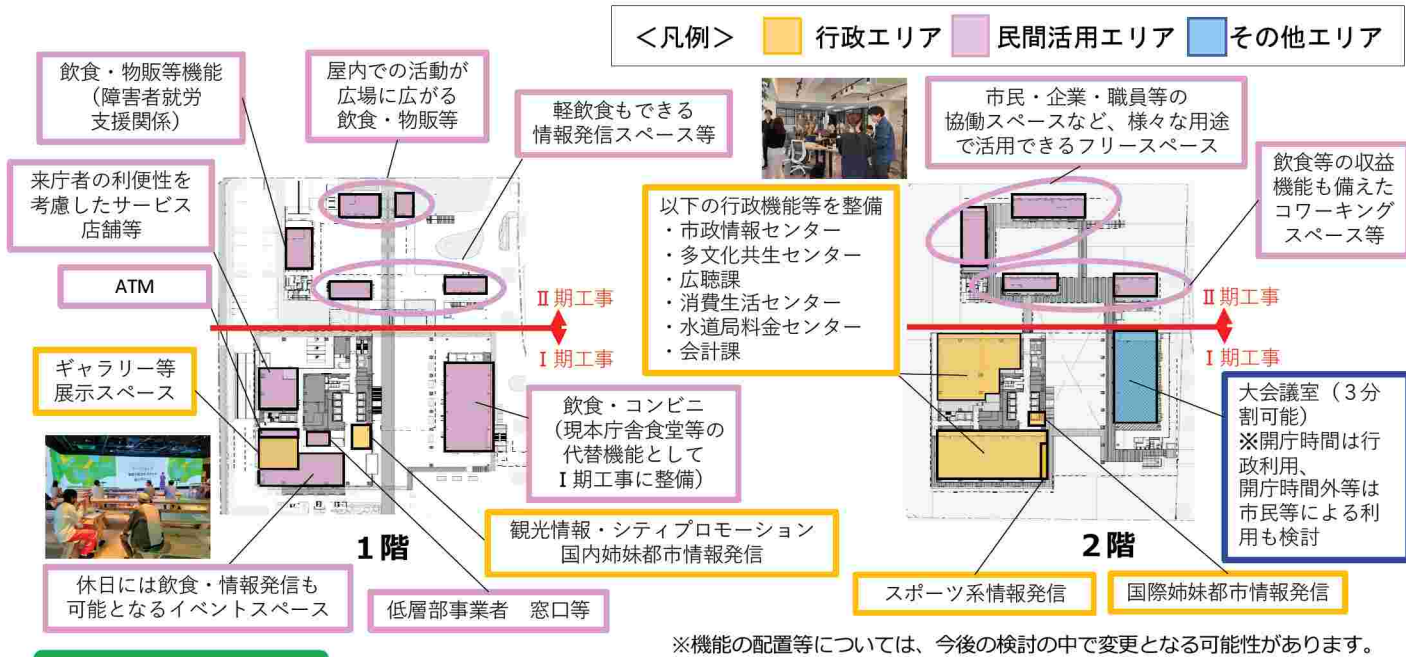
防災・環境関連グッズの販売

既存イベント、フリーマーケット等

一番町四丁目商店街や定禅寺通のイベントと連携 ⇒ 賑わいの相互波及・まちの回遊性向上



新本庁舎低層部等の目指す姿（機能配置のイメージ）



機能配置の考え方

※行政機能を除き、土日・開庁時間外も開放する機能を配置

<1階>

- ・気軽に訪れ、様々な情報に触れることのできる空間を整備。
- ・I期工事には、職員・市民への飲食提供や行政の情報発信といった、庁舎供用開始時から必要となる機能を整備。
- ・II期工事には、広場に活動が参みだすことで賑わいや憩いの空間がうまれるよう、軽飲食や民間による情報発信機能を整備。

<2階>

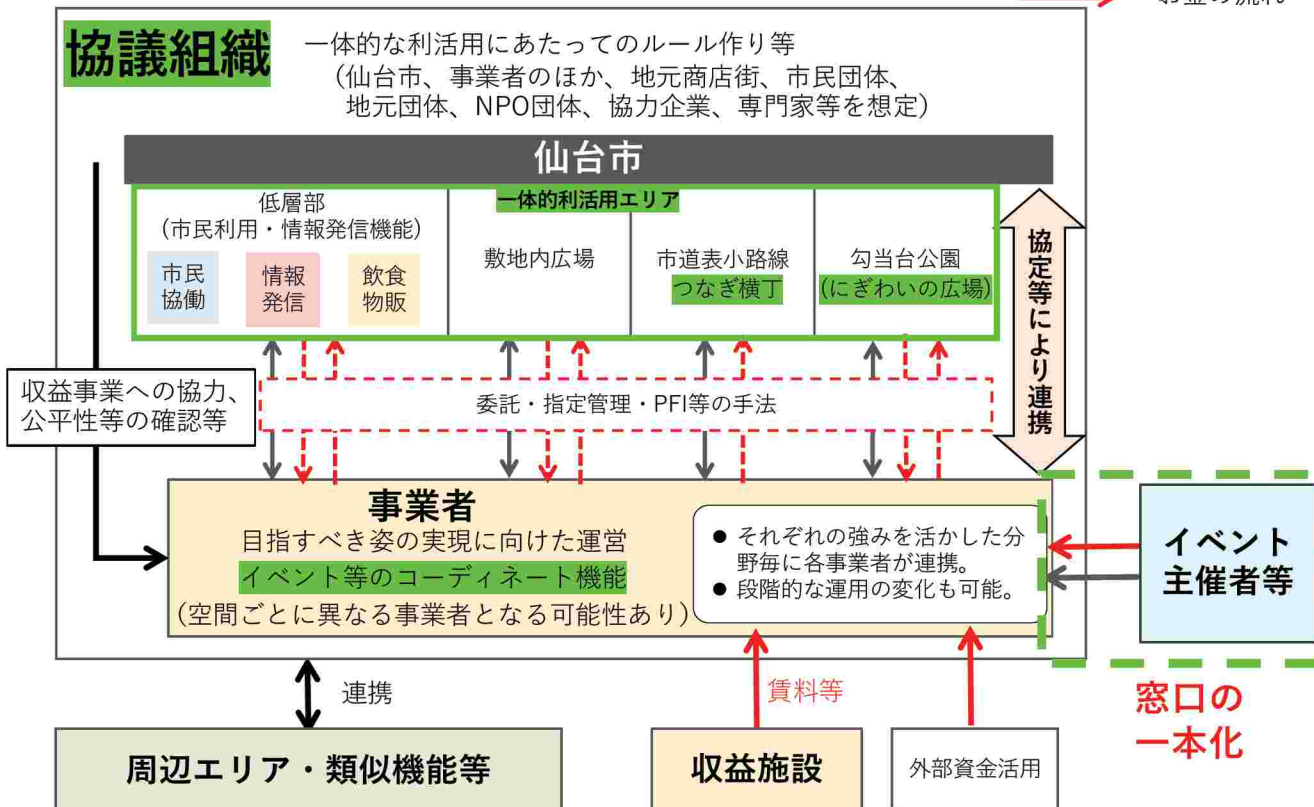
- ・I期工事には、市民の利用が多く想定される窓口等を整備。
- ・現在庁舎外にある消費生活センターや多文化共生センターを移転し、利用者の利便性の向上や、より多様な活動が行われる空間とする。
- ・II期工事には、多様な活動が交わり、新たな価値を生む空間など、**目的性のある空間を整備。**

新本庁舎低層部等の目指す姿（運営の枠組み【案】）

公民連携検討会での議論にR4年度以降の検討を踏まえ追加した箇所など

<事業手法（案）の想定>

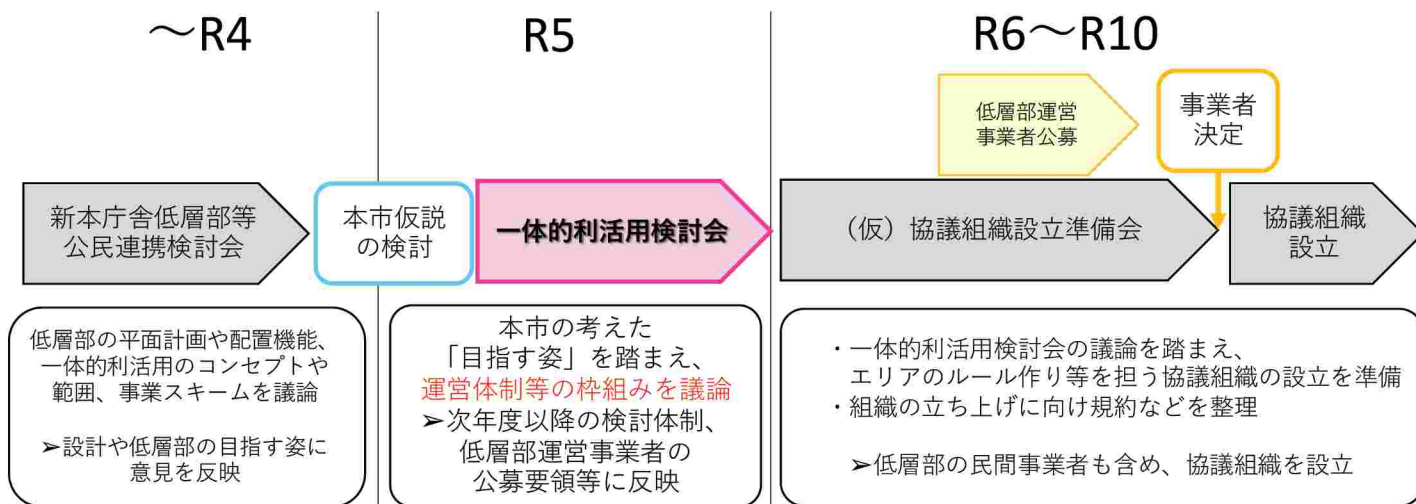
契約等
お金の流れ



本検討会での検討内容

本検討会について（検討組織の想定）

19



<本取組みの愛称>

- ・一体的利活用の実現に向け、
行政、地域関係者、有識者に加え、
検討内容を市民にも公開し、共に
考えていくという思いを込めて
愛称を「せんだいCO-LAB」検討会
と呼称。

せんだい CO-LAB 検討会

Co=共に行うこと
3つのラボを包括し、
これらを話し合い+活動する場として、
大文字で標記し差別化
みんなで創り上げる積み木をイメージした
タイポグラフィにて作成

- ① 一体的利活用の目指すべき姿の具体化に向けた検討
- ② 地域関係者による協議組織、新本庁舎低層部の運営事業者、仙台市の役割分担の検討
- ③ 一体的利活用を支援する仕組みの検討

検討会のスケジュール（想定）

	主な検討内容（案）	
第1回 (10/18)	<ul style="list-style-type: none"> ・一体的利活用エリアへの期待 ・協議組織・民間事業者・仙台市の役割① ・社会実験（11/3～11/12）の概要 	など
11/3-12	一体的利活用エリアにおける社会実験	
第2回 (12月)	<ul style="list-style-type: none"> ・協議組織・民間事業者・仙台市の役割② ・一体的利活用を支援する仕組み検討 ・社会実験の開催報告 	など
第3回 (3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・目指すべき姿の具体化（エリア価値向上に向けて）に向けたイメージ ・官民の役割分担や相互関係 ・今後の課題 	など

社会実験の企画概要について

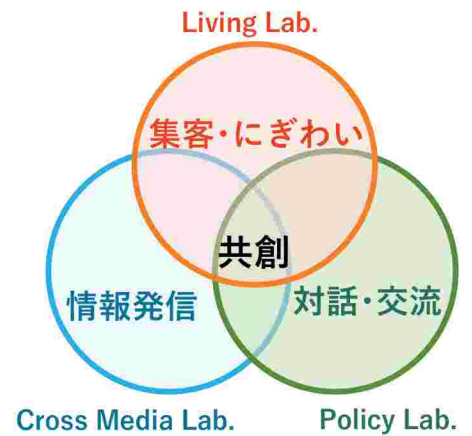
社会実験の目的、検証内容と調査手法（案）

22

目的	検証内容	調査対象	調査手法
①新本庁舎低層部で実施する事業(3つのラボ機能)の検証	a) 市民目線のコンテンツや一体的利活用エリアの満足度等について	来場者	アンケート
②既存イベントとの連携や各種イベントのコーディネートにおける一体的利活用エリア運営事業者の役割の検証	b) 既存イベントとの連携の効果や課題等について	イベント主催者 出店者	アンケート
	c) 準備・実施・終了後の各期間の業務で直面した課題やニーズ等について	運営事業者	記録
③行政側の申請窓口の一本化に向けた課題の検証	d) 申請手続きに係る行政側の課題等について	行政担当者 (本庁舎整備室)	ヒアリング
	④一体的利活用エリア周辺への賑わいの波及効果の検証	e) 社会実験の実施期間中の営業状況等について	周辺の地権者や店舗
歩行者交通量			センサー

- 既存イベントとの関連性も考慮したテーマ性を持たせながら、平日・休日・時間軸毎に具体的なコンテンツに落とし込み実施
- 3つのLab機能である**集客・にぎわい(Living Lab.)**、**情報発信(Cross Media Lab.)**、**対話・交流(Policy Lab.)**等のコンテンツの連動を意識
- 固定コンテナを仮想低層部と見立てコンテンツを毎日実施(既存イベントとの連携含む)
- 表小路線は市民広場のコンテンツの相乗効果を高める利活用(休日)
- つなぎ横丁は「南北の軸線」を意識した利活用(休日)
- 既存イベントの来場者や出展内容を踏まえた統一感のあるテーマ設定により、道路と公園がより一体的に活用され相乗効果が生まれるかを検証
- 一方、あえて既存イベントと関連性の低いテーマを設定したり、テーマを設定しないフリーな日程を組み込むことで検証の精度を高める

3つのLab機能のとらえ方

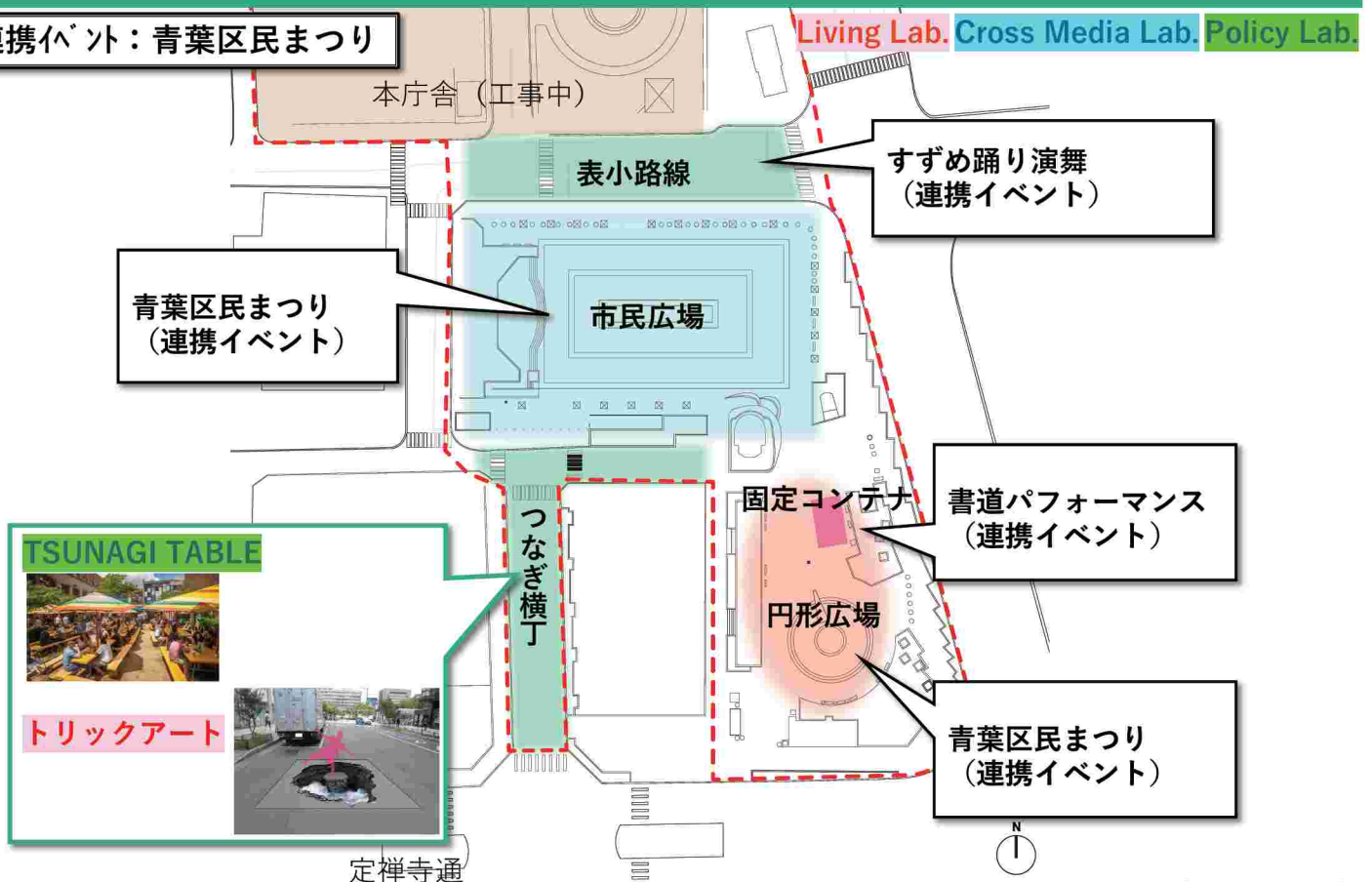


仮想低層部となる固定コンテナ (イメージ)



社会実験の企画概要：11月3日(金・祝)

連携イベント：青葉区民まつり

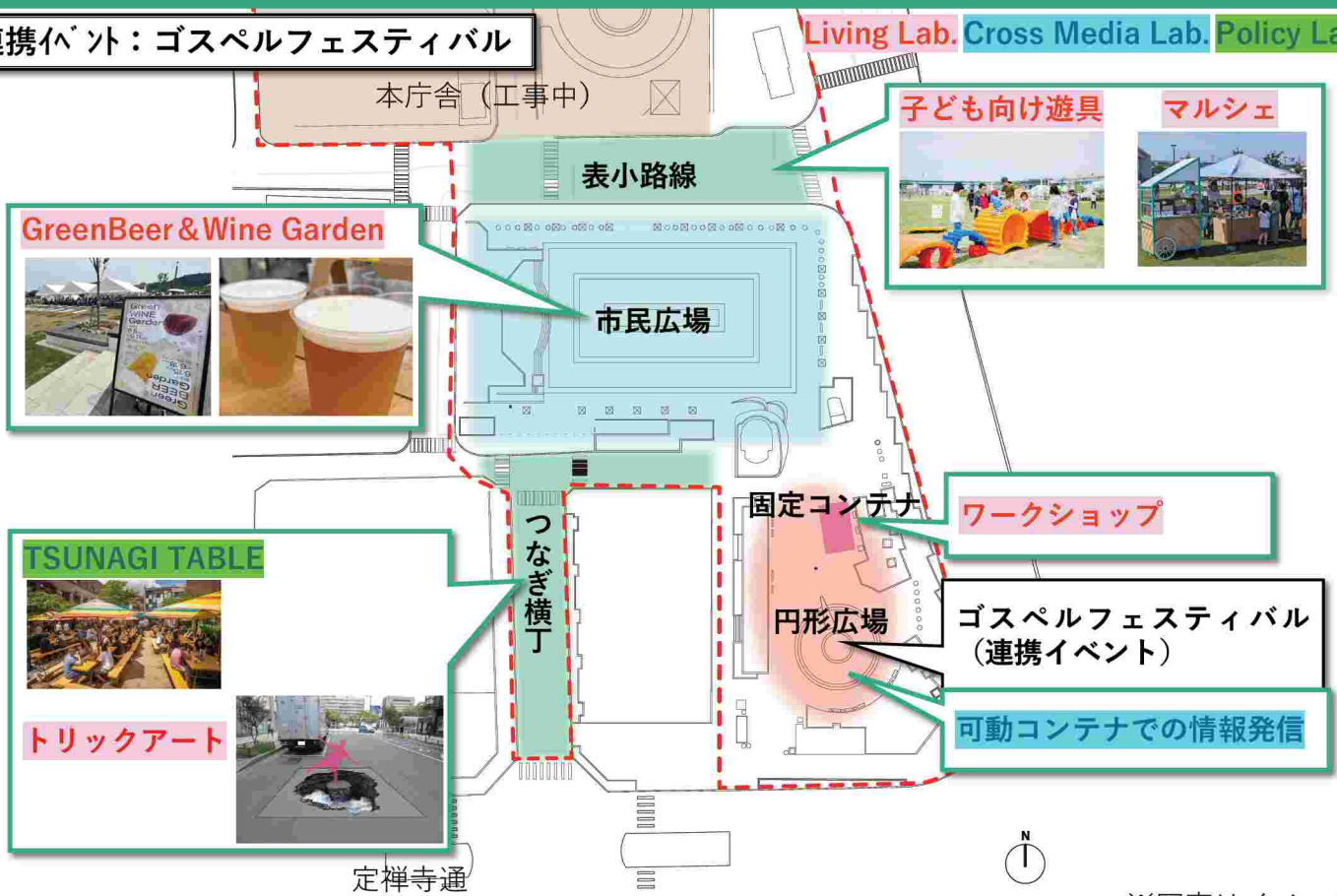


※写真はイメージ

社会実験の企画概要：11月4日(土)

連携イベント：ゴスペルフェスティバル

Living Lab. Cross Media Lab. Policy Lab.

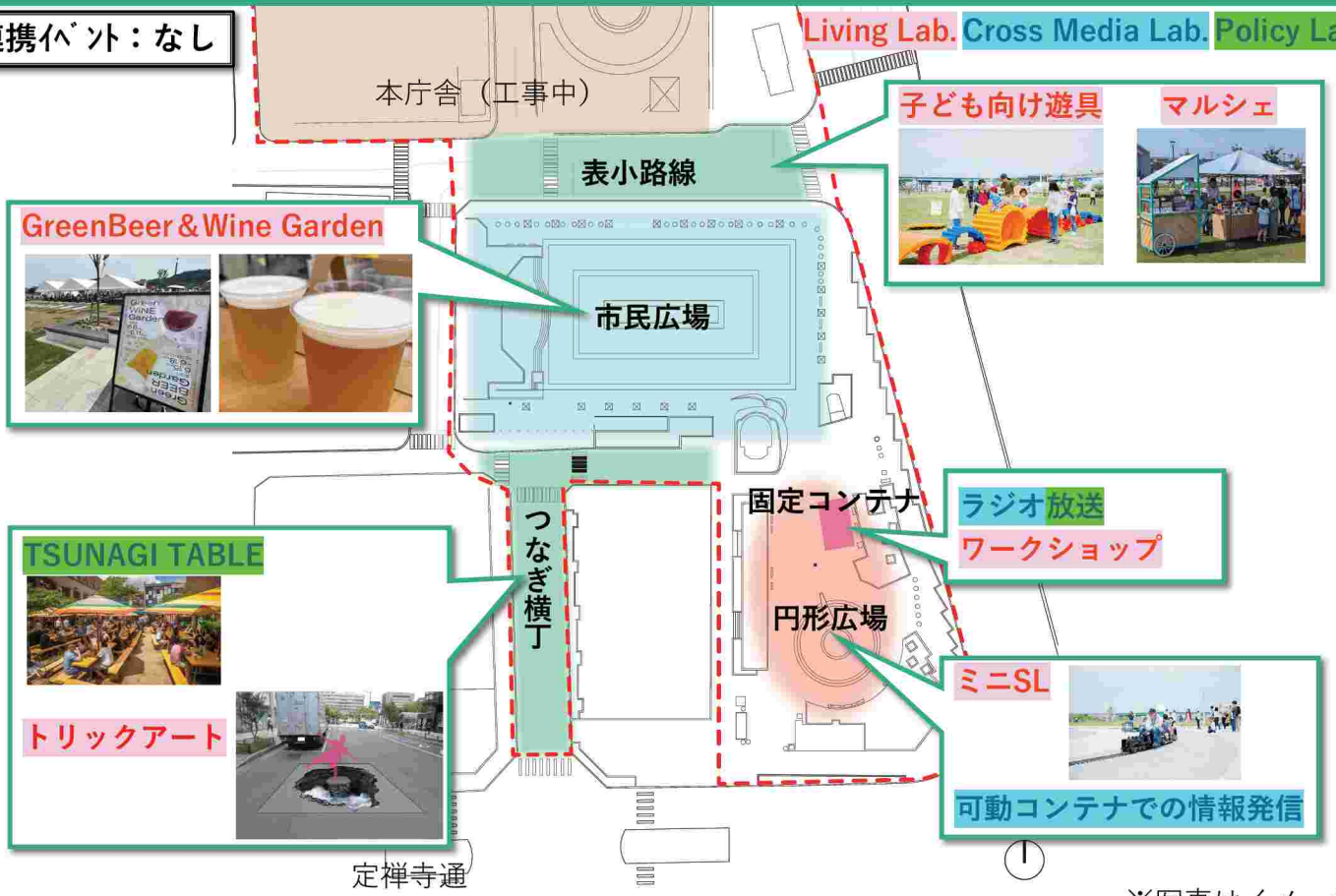


※写真はイメージ

社会実験の企画概要：11月5日(日)

連携イベント：なし

Living Lab. Cross Media Lab. Policy Lab.



※写真はイメージ

社会実験の企画概要：11月6日(月)

27

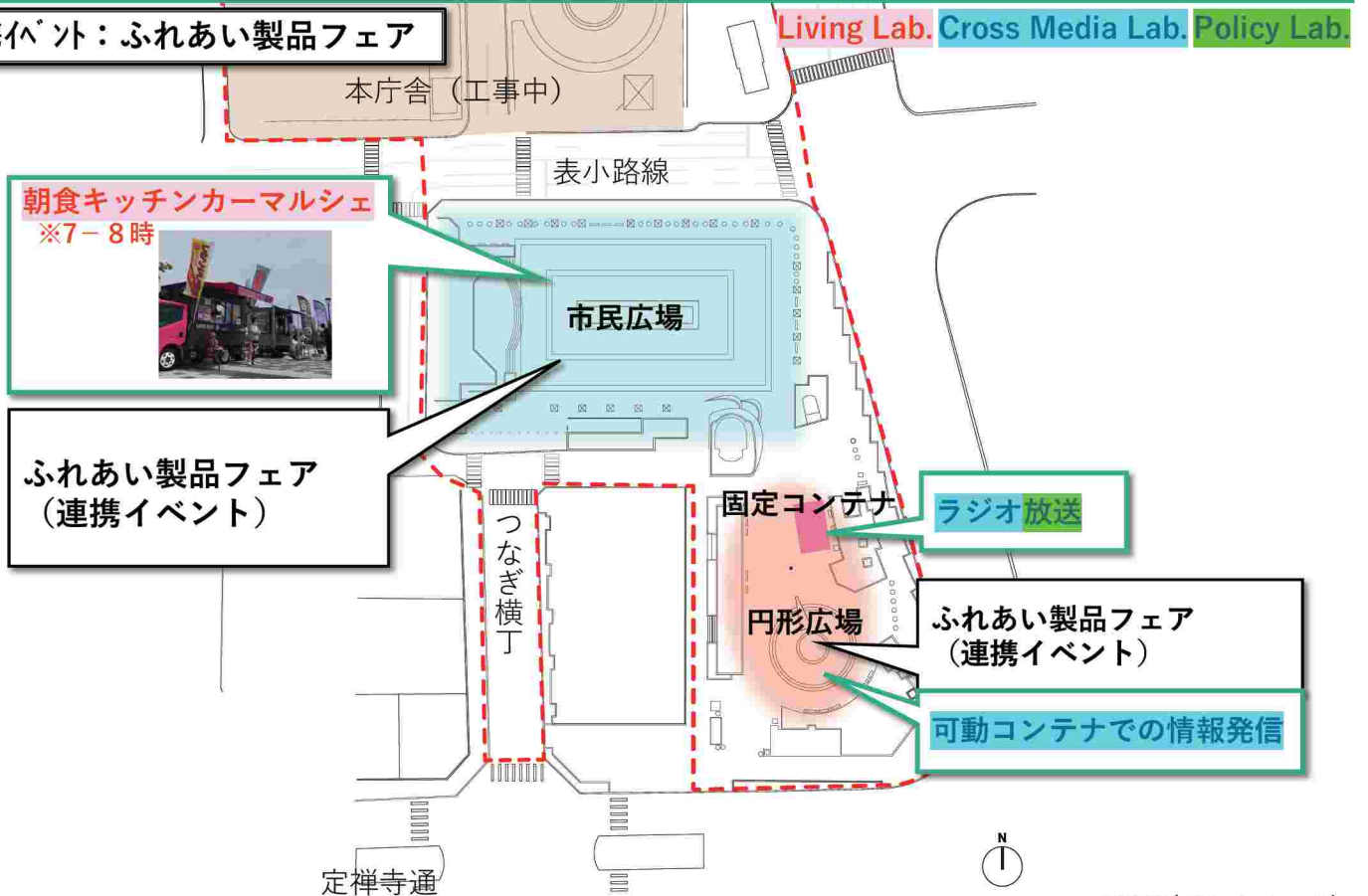
連携イベント：なし



社会実験の企画概要：11月7日(火)

28

連携イベント：ふれあい製品フェア



社会実験の企画概要：11月8日(水)

29

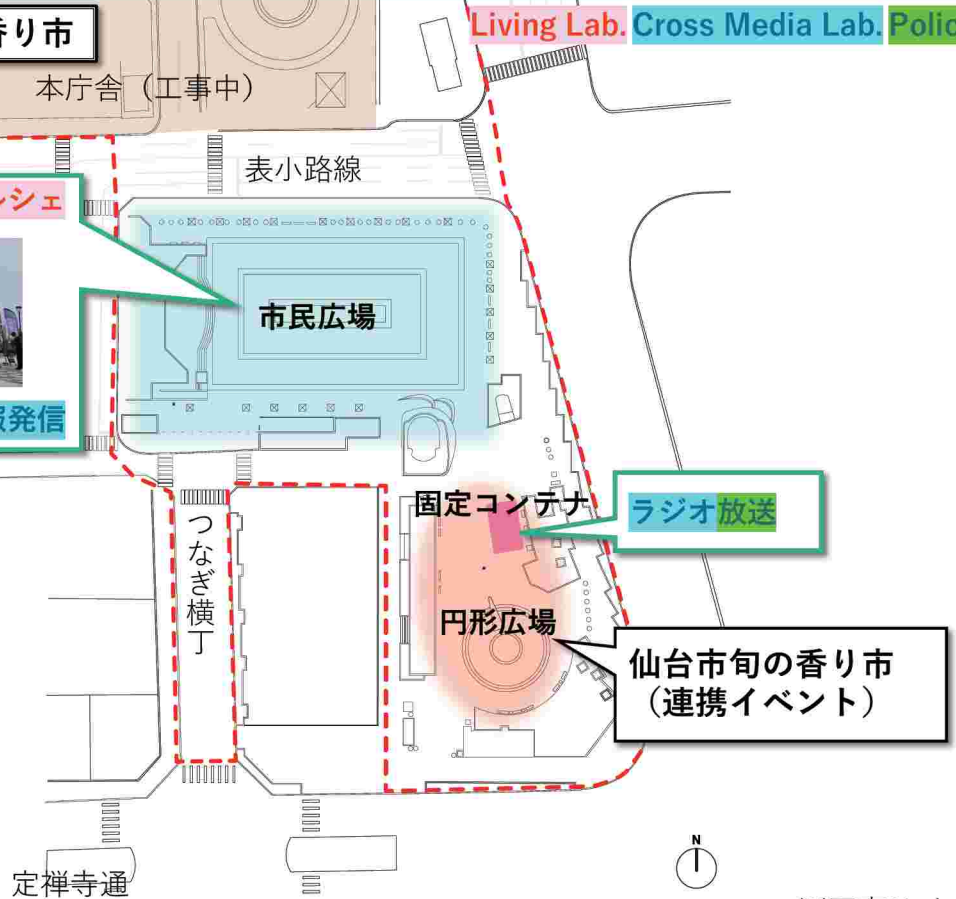
連携イベント：仙台市旬の香り市

Living Lab. Cross Media Lab. Policy Lab.

朝食キッチンカーマルシェ
※7-9時



可動コンテナでの情報発信



※写真はイメージ

社会実験の企画概要：11月9日(木)

30

連携イベント：山形ふれあいマーケット

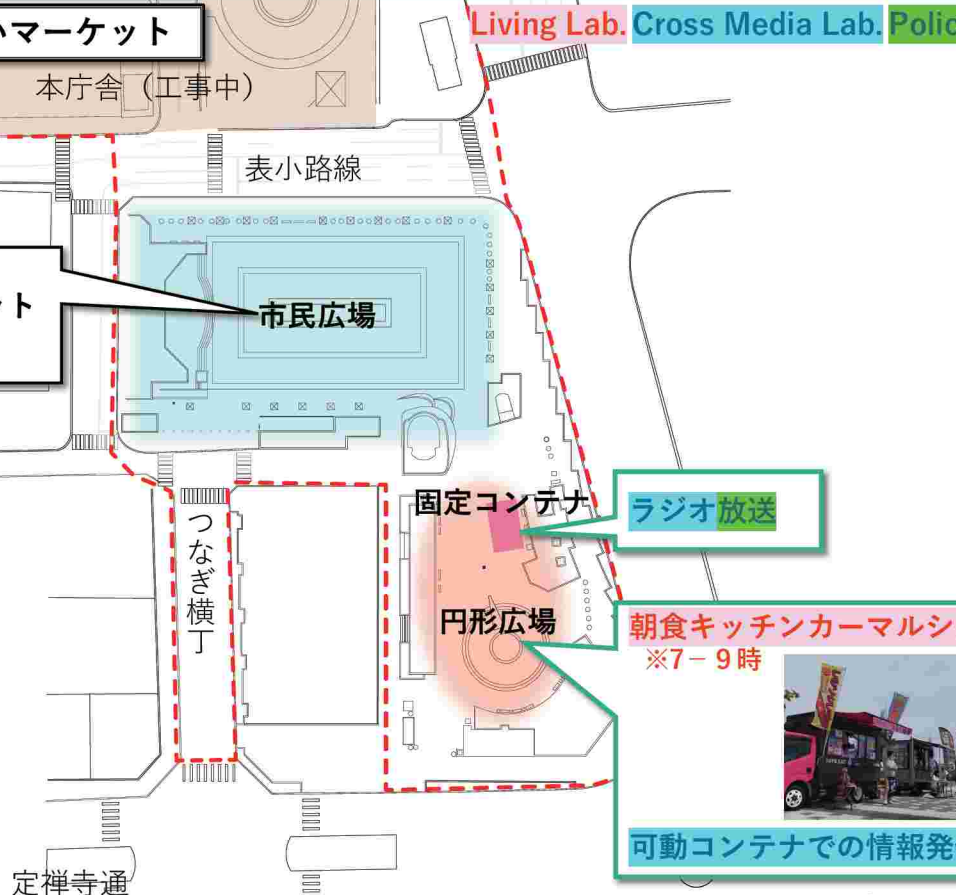
Living Lab. Cross Media Lab. Policy Lab.

山形ふれあいマーケット
(連携イベント)

朝食キッチンカーマルシェ
※7-9時



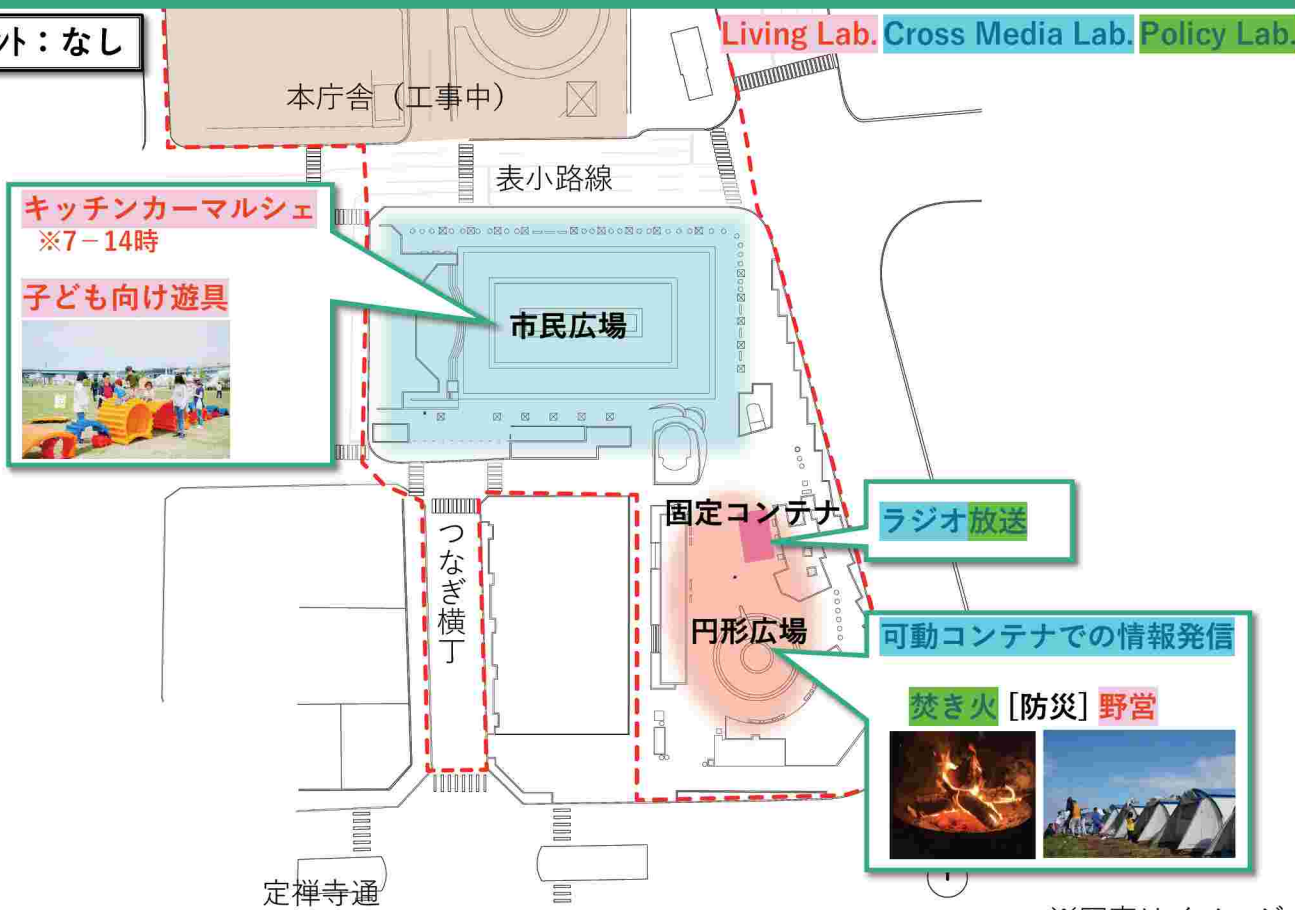
可動コンテナでの情報発信



※写真はイメージ

社会実験の企画概要：11月10日(金)

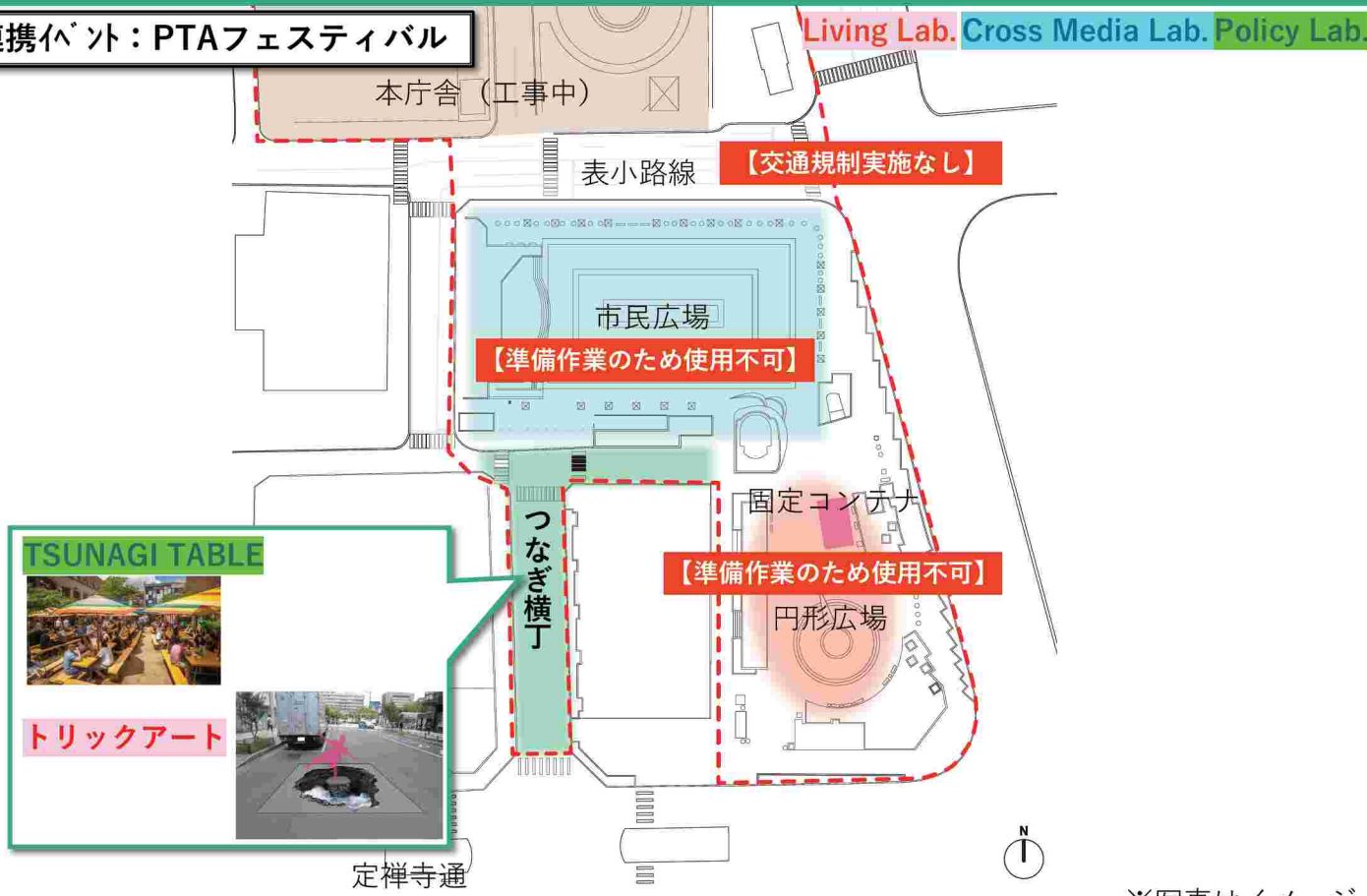
連携イベント：なし



※写真はイメージ

社会実験の企画概要：11月11日(土)

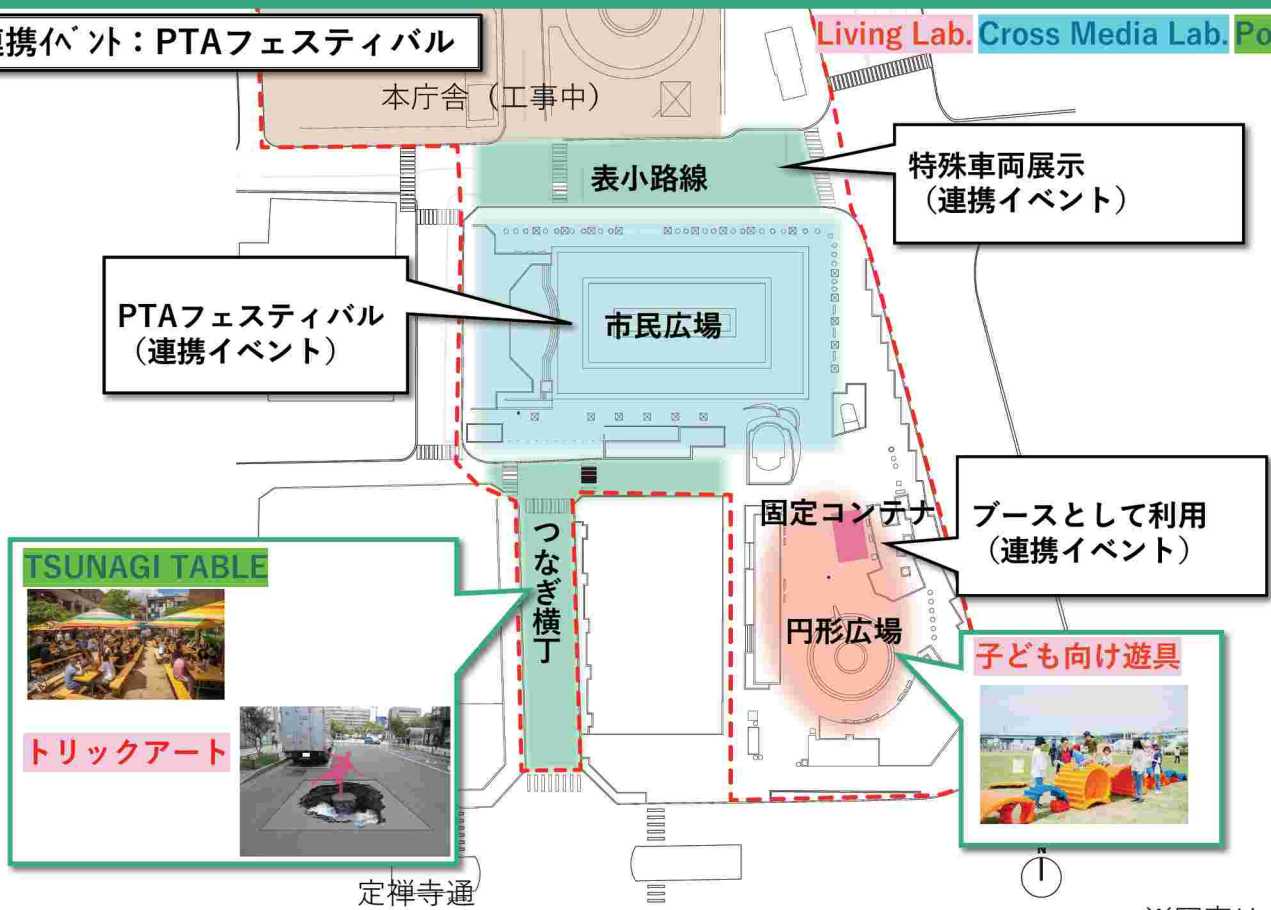
連携イベント：PTAフェスティバル



※写真はイメージ

連携イベント：PTAフェスティバル

Living Lab. Cross Media Lab. Policy Lab.



※写真はイメージ



これからの仙台を、じぶんごとに。

COmmitment (参加) して COmmunication (交流) して CO-creation (共創) する。
みんなのせんだい研究所。

新本庁舎低層部に設ける機能や勾当台公園市民広場等との一体的利活用による波及効果の検証のため、道路空間と公共空間を活用した社会実験を実施します。

2023.11.3 FRI - 11.12 SUN

会場 ①勾当台公園市民広場内
②市道表小路線内 (※BBA)
③つなぎ横丁内 (※BBA)

詳細は下記QRコードよりご確認ください。
*雨天や他の止むを得ない理由により、変更・中止する場合があります。中止の場合は用紙にてお知らせします。

<p>EVENT</p> <p>勾当台公園市民広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ●東北の食・魅力発信をテーマとしたイベント ●朝食キッチンカーマルシェ ●ラジオブース <p>市道表小路線</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子ども向けワークショップ ●遊具の設置 <p>つなぎ横丁</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民参加型ワークショップ 	<p>交通規制のお知らせ</p> <p>期間中の11/3(金)～11/12(日)は、上記のとおり交通規制を実施しますので、ご理解ご協力をお願いいたします。 ※イベントに付き添って参りますのでそれぞれのイベントにお知らせを要りください。 ※11/12(日)は勾当台公園市民広場開催</p> <p>会場内車線通行止め 8:00～18:00</p> <p>①勾当台公園市民広場 ②市道表小路線 ③つなぎ横丁</p> <p>※交通規制による迂回・渋滞等も発生いたします。</p>
--	--

社会実験の実施目的や交通規制について 仙台市市政局本庁舎整備室 TEL.022-214-3170
社会実験の開催プログラムについて：株式会社ユーマディア TEL.022-224-5151 詳細はこちら

ディスカッション

① 自己紹介&一体的利活用エリアへの期待

- ・自己紹介
- ・一体的利活用エリアへの期待
- ・ここまでの説明への質問

② 協議組織、事業者、仙台市の役割

- ・内川委員による事例紹介
- ・各々の役割、権限
 - 協議組織：
 - 事業者：
 - 仙台市：
- ・協議組織の体制や構成員はどうあるべきか
- ・事業者の体制（どういった分野が必要か）
- ・仙台市の体制（窓口、組織など）

③ 社会実験について